

2004年10月1日
日本銀行山形事務所

全国企業短期経済観測調査結果（2004年9月調査）
山形県内分

1. 業況判断 前回6月調査比小幅改善。先行きは再び悪化を予想（6月
10 9月 6 12月 15）

製造業：繊維が一部先の受注増から改善したものの、電気機械がデジタル関連の受注鈍化傾向からプラス幅が縮小したため、小幅ながら悪化した。

先行きについては、一般機械が工場設備向け出荷増から改善するものの、電気機械が受注鈍化懸念から大幅に悪化するため、マイナスに転じる予想（6月8 9月2 12月 4）

非製造業：建設・不動産が民間工事受注増から改善したほか、卸・小売が猛暑効果やオリンピック需要による売上増から改善。また、運輸、電気・ガスでも売上増等から改善したため、大幅に改善した。

先行きについては、建設・不動産が受注減少懸念から再び大幅に悪化するほか、運輸が軽油価格上昇による収益悪化懸念から悪化するため、再び悪化する予想（6月 3 4 9月 1 7 12月 2 9）

2. 売上高・経常利益 2004年度の売上高、経常利益は、前年度比ほぼ横這いの計画。

製造業：売上高は電気機械、繊維等が減少することから小幅減収となる計画。経常利益は電気機械、一般機械、食料品等が減益を予想しており小幅減益となる計画（売上 1.9%、経常利益 6.7%）

非製造業：売上高は建設・不動産等が減少するものの、卸・小売等が増加することから僅かながら増収となる計画。経常利益は、建設・不動産等が減少するものの、卸・小売等が増加することから増益となる

計画（売上高 + 1.2%、経常利益 + 14.2%）

3 . 設備投資 2004 年度の設備投資は前年度比約 2.5 倍と著増する計画。

製造業：電気機械の能力増強投資を中心に大幅に増加しており、一部で大規模な投資を実施することもあることあって前年度比約 2.8 倍と著増する計画（+ 180.9%）

非製造業：情報通信で大口投資が続くことに加え、卸・小売、運輸等が増加することから前年度比約 3 割増となる計画（+ 28.3%）

以 上